



# 平成29年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年6月8日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

上場取引所 東

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 遠海 武則

TEL 025 - 232 - 0008

四半期報告書提出予定日 平成29年6月13日

配当支払開始予定日

平成29年7月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年10月期第2四半期の連結業績(平成28年11月1日～平成29年4月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第2四半期	16,402	3.7	381	26.4	360	26.6	227	23.3
28年10月期第2四半期	17,035	2.4	518	0.4	491	1.7	296	22.1

(注) 包括利益 29年10月期第2四半期 241百万円 (13.4%) 28年10月期第2四半期 278百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第2四半期	18.84	18.80
28年10月期第2四半期	24.57	24.52

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年10月期第2四半期	29,344	7,378	25.0	607.93
28年10月期	24,528	7,227	29.3	595.56

(参考) 自己資本 29年10月期第2四半期 7,346百万円 28年10月期 7,197百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期		7.50		7.50	15.00
29年10月期		7.50			
29年10月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年10月期の連結業績予想(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,200	10.9	820	10.1	780	11.3	460	21.6	38.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年10月期2Q	12,688,000 株	28年10月期	12,688,000 株
期末自己株式数	29年10月期2Q	603,482 株	28年10月期	603,482 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年10月期2Q	12,084,518 株	28年10月期2Q	12,084,518 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が雇用・賃金へと波及し、景気は緩やかな回復基調が続きました。その一方で、各国で相次ぐ政権交代や新興国経済の減速懸念などから、国際情勢においては先行きの不透明感が払拭できずにあります。

このような状況のもと、当社グループでは平成28年11月に「峰弥書店新発田店」（新潟県新発田市）を増床・改装し、新たに「蔦屋書店新発田店」として開店したのを皮切りに、既存店のリニューアルに積極的に取り組みました。Book&Cafeスタイルの導入や、特撰雑貨・文具など販売品目の拡大・充実、そして新たなテナントの誘致により、ご来店いただくことの価値が一層高まるような店舗づくりを進めてまいりました。

当社グループでは、大型複合店舗の広い売場に、書籍、映画、音楽、ゲーム、カフェといった「日常的エンターテインメント」を集約し、眺めるだけでも楽しく、再来店したくなる売場作りを目指しております。また、書籍をきっかけとした新たなライフスタイルづくりをお手伝いする多彩な商品を取り揃え、広い世代のお客様にお買物を楽しんでいただくためのご提案を続けております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高16,402百万円（前年同期比96.3%）、営業利益381百万円（前年同期比73.6%）、経常利益360百万円（前年同期比73.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益227百万円（前年同期比76.7%）となりました。

#### 売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの軸である蔦屋書店事業において、書籍の売上が前年同期比96.0%（既存店96.1%）と前年水準を割り込んだほか、CD/DVDの販売・レンタル売上も前年水準に届きませんでした。取り扱い商品の拡大が好評の特撰雑貨・文具は前年同期比109.5%（既存店106.9%）と健闘しましたが、他部門の苦戦を補うには至らず、蔦屋書店事業全体の売上高前年同期比は96.2%（既存店96.0%）にとどまりました。

利益面につきましては、連結売上総利益率が前年同期比0.2ポイント改善しましたが、一方で販管費率が0.9ポイント悪化した結果、営業利益は前年同期比26.4%減少し381百万円に、経常利益は前年同期比26.6%減少し360百万円に、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比23.3%減少して227百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

#### ①蔦屋書店事業

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高15,965百万円（前年同期比96.2%）、セグメント利益は343百万円（前年同期比73.0%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍96.0%（既存店96.1%）、レンタル85.7%（既存店87.1%）、特撰雑貨・文具109.5%（既存店106.9%）、販売用CD94.0%（既存店96.3%）、ゲーム・リサイクル100.4%（既存店101.8%）、販売用DVD79.8%（既存店81.3%）となりました。特撰雑貨・文具の販売が好調で、ゲーム・リサイクルも前年実績を上回りましたが、他の部門は前年の水準に達しませんでした。

#### ②その他

当セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高439百万円（前年同期比100.7%）、セグメント損益は9百万円の損失となりました。

中古買取販売事業の売上高は、前年同期比105.5%となりました。中古書籍売上高は前年同期比91.8%、ゲーム新品の売上高は前年同期比108.6%、ゲーム中古の売上高は前年同期比105.1%とゲーム部門が好調な上、利益面でも販売管理費の抑制が奏功し、黒字を維持しております。

一方、スポーツ関連事業等の売上高は、前年同期比88.1%となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比4,816百万円増加し、29,344百万円となりましたが、当第2四半期連結累計期間においては、期末日が金融機関休業日であったことにより、1,993百万円の支払いが翌営業日に繰り越され、現預金及び総資産が一時的に増加しております。これらを勘案した総資産は、前連結会計年度末比2,824百万円増加し、27,352百万円となり、これは主に現金及び預金が1,423百万円、有形固定資産合計が644百万円、商品が591百万円、未収入金が187百万円、前払費用が19百万円、それぞれ増加した一方、投資その他の資産が58百万円減少した結果です。

負債につきましては、前連結会計年度末比4,666百万円増加し、21,966百万円となりました。これは総資産と同様、期末日が金融機関休業日であったために、買掛金の支払いが1,798百万円、未払金の支払いが140百万円、借入金の返済が52百万円、それぞれ翌営業日に繰り越されております。これらを勘案した負債合計は、前連結会計年度末比2,673百万円増加し、19,974百万円となりました。これは主に、1年内返済予定を含む長期借入金が1,110百万円、短期借入金が1,000百万円、リース債務が597百万円、それぞれ増加した結果です。

純資産につきましては、前連結会計年度末比150百万円増加し、7,378百万円となりました。これは主に、利益剰余金が137百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ3,417百万円増加し、4,891百万円となりました。

ただし、当第2四半期連結累計期間においては、期末日が金融機関休業日であることの影響を受けており、当第2四半期連結累計期間の期末日においては1,993百万円の支払いが翌営業日に繰越されております。

これらを勘案した当第2四半期連結累計期間末における資金は、前連結会計年度末と比べ1,423百万円増加し、2,897百万円となります。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は2,067百万円（前年同期比284百万円資金増）となりました。上記に記載した金融機関休業日の影響を勘案すると、獲得した資金は125百万円（前年同期比1,430百万円資金減）となり、これは主に前年同期と比べ、法人税等の支払額が160百万円減少した一方で、税金等調整前四半期純利益が130百万円減少したことや、たな卸資産の増減額が1,251百万円増加したこと等により、資金が減少したためです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は55百万円（前年同期比106百万円資金増）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は1,294百万円（前年同期比1,792百万円資金増）となりました。

これにつきましても、上記に記載した金融機関休業日の影響を勘案すると、財務活動の結果獲得した資金は1,242百万円（前年同期比1,751百万円資金増）となり、これは主に前年同期と比べ、リース債務の返済による支出が189百万円増加した一方で、短期借入金の純増減額が1,000百万円、長期借入れによる収入が950百万円、それぞれ増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績が概ね計画通り推移していることから、平成28年12月8日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。
- (4) 追加情報  
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,484,107	4,901,861
売掛金	220,898	243,053
商品	7,953,689	8,545,113
前払費用	290,298	308,689
繰延税金資産	48,476	46,453
未収入金	274,347	462,104
その他	28,951	27,912
貸倒引当金	△404	△405
流動資産合計	10,300,365	14,534,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,609,863	2,568,277
土地	1,583,602	1,583,602
リース資産(純額)	5,203,293	5,874,181
その他(純額)	180,120	195,083
有形固定資産合計	9,576,879	10,221,145
無形固定資産		
その他	62,747	59,339
無形固定資産合計	62,747	59,339
投資その他の資産		
繰延税金資産	432,797	418,729
敷金及び保証金	3,441,734	3,380,126
その他	713,727	730,762
投資その他の資産合計	4,588,260	4,529,618
固定資産合計	14,227,887	14,810,103
資産合計	24,528,252	29,344,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,596,671	5,410,280
短期借入金	400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,447,874	1,767,118
リース債務	1,352,802	1,630,511
未払法人税等	118,649	174,167
賞与引当金	63,000	60,000
未払金	626,879	768,770
その他	415,217	280,355
流動負債合計	8,021,094	11,491,204
固定負債		
長期借入金	4,317,946	5,161,888
リース債務	4,159,418	4,479,470
資産除去債務	485,278	490,701
退職給付に係る負債	81,497	77,566
役員退職慰労引当金	62,941	62,941
長期未払金	81,328	111,145
長期預り敷金保証金	90,458	90,660
その他	663	1,179
固定負債合計	9,279,530	10,475,551
負債合計	17,300,624	21,966,756
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	3,177,526	3,314,590
自己株式	△270,028	△270,028
株主資本合計	7,218,559	7,355,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,468	△9,115
その他の包括利益累計額合計	△21,468	△9,115
新株予約権	8,249	8,249
非支配株主持分	22,287	23,372
純資産合計	7,227,627	7,378,130
負債純資産合計	24,528,252	29,344,886



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
売上高	17,035,745	16,402,155
売上原価	11,423,581	10,971,287
売上総利益	5,612,164	5,430,868
販売費及び一般管理費	5,093,705	5,049,505
営業利益	518,458	381,363
営業外収益		
受取利息	14,822	11,484
協賛金収入	9,617	16,251
原子力立地給付金	10,137	10,512
その他	23,929	17,835
営業外収益合計	58,506	56,082
営業外費用		
支払利息	85,401	76,512
営業外費用合計	85,401	76,512
経常利益	491,563	360,933
税金等調整前四半期純利益	491,563	360,933
法人税、住民税及び事業税	125,729	121,470
法人税等調整額	68,430	10,679
法人税等合計	194,160	132,150
四半期純利益	297,403	228,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	465	1,084
親会社株主に帰属する四半期純利益	296,937	227,698

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
四半期純利益	297,403	228,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,959	12,353
その他の包括利益合計	△18,959	12,353
四半期包括利益	278,443	241,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	277,978	240,051
非支配株主に係る四半期包括利益	465	1,084

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	491,563	360,933
減価償却費	682,270	863,086
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,000	△3,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,840	△3,930
受取利息及び受取配当金	△14,837	△11,499
支払利息	85,401	76,512
売上債権の増減額(△は増加)	△11,966	△22,154
たな卸資産の増減額(△は増加)	660,322	△591,423
仕入債務の増減額(△は減少)	229,980	1,813,609
未払消費税等の増減額(△は減少)	69,015	△92,301
長期前払費用の増減額(△は増加)	17,851	△15,743
その他	△64,243	△113,258
小計	2,142,522	2,260,830
利息及び配当金の受取額	2,889	366
利息の支払額	△85,234	△76,512
法人税等の支払額	△277,810	△117,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,782,366	2,067,154
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△218,181	△19,725
無形固定資産の取得による支出	△14,800	△129
投資有価証券の償還による収入	100,000	1,786
敷金及び保証金の回収による収入	128,396	114,932
敷金及び保証金の差入による支出	△50,610	△42,191
その他	4,272	1,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,923	55,973
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,000,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,950,000
長期借入金の返済による支出	△819,972	△786,814
リース債務の返済による支出	△586,136	△775,725
割賦債務の返済による支出	△838	△1,742
配当金の支払額	△90,688	△91,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	△497,635	1,294,625
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,233,807	3,417,754
現金及び現金同等物の期首残高	3,402,947	1,474,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,636,755	4,891,861

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	16,601,484	434,261	17,035,745	—	17,035,745
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,910	1,910	△1,910	—
計	16,601,484	436,171	17,037,655	△1,910	17,035,745
セグメント利益又は損失(△)	470,842	△3,371	467,471	50,987	518,458

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	15,965,103	437,052	16,402,155	—	16,402,155
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,138	2,138	△2,138	—
計	15,965,103	439,190	16,404,294	△2,138	16,402,155
セグメント利益又は損失(△)	343,693	△9,578	334,114	47,248	381,363

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業、スポーツ関連事業及び店舗設備の維持管理等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 商品別販売状況

区 分		前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)		前年同期比 (%)
		売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	
蔦屋書店事業	書籍	8,796,233	51.7	8,445,452	51.5	96.0
	レンタル	2,600,315	15.3	2,227,504	13.6	85.7
	特撰雑貨・文具	2,024,246	11.9	2,217,475	13.5	109.5
	販売用CD	904,962	5.3	850,835	5.2	94.0
	ゲーム・リサイクル	805,975	4.7	808,950	4.9	100.4
	販売用DVD	613,440	3.6	489,271	3.0	79.8
	その他	856,310	5.0	925,612	5.6	108.1
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
	計	16,601,484	97.5	15,965,103	97.3	96.2
その他	外部顧客に対する売上高	434,261	2.5	437,052	2.7	100.6
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,910	0.0	2,138	0.0	111.9
	計	436,171	2.5	439,190	2.7	100.7
合計		17,037,655	100.0	16,404,294	100.0	96.3

(注) 1 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

3 蔦屋書店事業の「その他」は、図書カード売上、賃貸不動産収入等で構成されています。